

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 【富山県・石川県災害廃棄物処理図上演習】

本モデル事業の特徴

- ・富山県及び石川県の全自治体及び関係組合等を対象とし、**災害廃棄物が発生した際に必要となる作業や手順等を検討するグループワーク**を開催。
- ・各県で3回ずつグループワークを実施した後、**両県合同で県域を超える広域連携の検証をテーマとした図上演習**を開催。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、**合同図上演習以外はオンラインで開催**。合同図上演習も、**県をまたぐ移動をせずに、両県それぞれで会場を設け、オンラインで接続すること**で実施。
- ・**グループワーク及び図上演習の結果を踏まえ、発災時の初動対応に係るシナリオを整理し、自治体が主体となりグループワークを開催できるように、シナリオ集及び運営方法を取りまとめる。**

1.対象

- 富山県：10市4町1村、4組合
- 石川県：11市8町、8組合、産業資源循環協会

2.モデル事業の取組方針

- 業務開始時に、対象団体に対しアンケートを実施し、関心がある事項を抽出しテーマを設定。
- アンケート結果：「仮置場」の要望が最も多く、次いで「処理体制」「情報収集」「ごみ収集運搬」の要望も多く寄せられた。具体的な要望として、基本的、初歩的な事項からの説明を求める意見が最も多く寄せられた。

<事前アンケート項目>

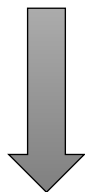
～興味がある、詳しく学びたい事項～

- ❑ 自治体内の組織体制、他自治体や民間企業との連携に関すること
- ❑ 被害情報の収集・処理方法の判断に関すること
- ❑ 災害時の一般ごみ・避難所ごみ収集運搬体制に関すること
- ❑ 災害時のし尿処理や仮設トイレに関すること
- ❑ 資機材・人員の確保に関すること
- ❑ 住民への広報に関すること
- ❑ 仮置場に関すること（選定方法、管理、運営など）

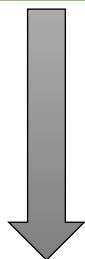
令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 【富山県・石川県災害廃棄物処理図上演習】

3.グループワークの実施内容

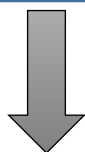
第1回 グループワーク
石川県:7/8、富山県:7/6



第2回 グループワーク
石川県:8/23、富山県:7/26



第3回 グループワーク
石川県:10/5、富山県:8/19



合同図上演習

◆ 災害廃棄物処理事業の流れ

- ・災害廃棄物処理全体の流れのイメージをつかむ
- ◆ 災害廃棄物処理に係る組織体制の構築
 - ・災害廃棄物に係る業務を担当する部署を明確化
 - ・災害時に収集すべき情報を明確化
 - ・円滑に組織体制を構築、情報収集を行うために平時から備えておくべきことの整理

◆ ごみ・し尿収集運搬体制の構築

- ・発災時、生活系ごみやし尿の収集運搬や処理が滞る要因とそれに対する平時の備えを整理

◆ 仮置場の選定、管理・運営

- ・仮置場の運営や管理に必要な業務を明確化
- ・仮置場候補地を選定する条件や事前確認が必要なことを整理

◆ 仮置場の設置

- ・簡易な仮置場レイアウトの検討
(レイアウトを検討する上で留意することを意識)

◆ 他自治体、民間事業者等への支援要請

- ・発災時、支援要請が必要となる具体的な内容を整理
- ・支援依頼先へ伝達すべき内容の整理

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 【富山県・石川県災害廃棄物処理図上演習】

4. 合同図上演習の実施内容

① 組織体制の確立

災害時に必要な業務を検討し、業務内容に合わせた役割を分担する

富山

石川



図上演習実施状況

② 被害状況の把握

付与された状況から、被災状況報告様式を作成する

富山

石川

中部ブロック広域
連携計画の様式
類を使用

石川

③ 支援要請内容の整理

被害状況等から支援が必要な内容を整理し
支援要請様式を作成する

富山

③ 支援可能な内容の整理

被害状況等から支援可能な内容を整理し
支援準備様式を作成する

④ 支援要請のやり取り

支援先へ伝達すべき内容を整理し、意見交換をする
受援先に確認したい内容を整理し、意見交換をする

石川

富山

県をまたいだやり取りの時はWeb会議（左図）を使用して実施

画面を共有しながら
オンラインでやり取り



共有画面

令和3年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理体制強化モデル事業 【三重県災害廃棄処理図上演習（Web方式）】

本モデル事業の特徴

- ・ 災害発生時の**対応力、判断力の向上**を目指し、自治体等における**災害廃棄物処理体制の実効性を高める**ために有用な知見を見出すことを目的として災害廃棄物処理に係る図上演習を実施。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を前提とした演習方法を見出すため、**Web会議方式にて図上演習を実施**。
- ・ 発災後の**初動から一次仮置場の設置、運営管理まで**について、**対応型図上演習を実施**。

1.対象（事務局を含めて、約50人が参加）

- 三重県内市町：9市、4町
- 一部事務組合：1団体
- 廃棄物関係団体：6団体
- 三重県地域防災総合事務所、地域活性化局
- 有識者：名古屋大学 平山准教授

2.開催日時

- 令和3年12月10日（金）10:00～16:45

3.開催方法

- Web会議方式（ZOOMを使用）

4.当日のプログラム

- 右図の通り
- 右図の ■ はブレイクアウトセッションを使った班別作業
- 右図の ■ は情報共有の時間

5.図上演習の設定条件

- 架空都市（X市）において水害が発生した想定で実施。

目安時間	内容
10:00～10:05 (5分)	1. 開会（三重県、中部地方環境事務所）
10:05～10:20 (15分)	2. 図上演習の実施方法等説明（事務局）
10:20～10:30 (10分)	3. 自己紹介
10:30～11:40 (70分)	4. 図上演習 [前半] 班内のまとめ約10分を含む
11:40～12:00 (20分)	5. 図上演習実施結果 [前半] の発表
12:00～13:00 (60分)	休憩
13:00～14:40 (100分)	6. 図上演習 [後半] 班内のまとめ約10分を含む
14:40～15:00 (20分)	7. 図上演習実施結果 [後半] の発表
15:00～15:15 (15分)	休憩
15:15～15:40 (25分)	8. 意見交換
15:40～15:55 (15分)	9. 意見交換結果の発表
15:55～16:25 (30分)	10. 図上演習の解説（事務局）
16:25～16:40 (15分)	11. 講評（有識者）
16:40～16:45 (5分)	12. 閉会

